

# SSII2015 ハイライト発表プログラム

## 6月12日(金) 13:30～14:20

会場：1F 画像センシング展 会場内 第2 セミナールーム

第2 セミナールーム

1階 展示会場

出入口

画像センシングシンポジウム (SSII2015) デモンストレーションゾーン

### DS1-05 マルチバンドプロジェクタを用いた多重画像投影

13:30～13:38

～人ごとに異なる番組を視聴できる不思議なテレビ～  
村松晃司・野々山誠人・坂上文彦・佐藤 淳(名古屋工業大学)

我々は見の人ごとに異なる映像を視聴可能な、新しい映像提示技術を提案します。この方法では、観測者の視覚特性に合わせて提示映像を合成することで、人ごとに異なる映像を提示することができます。さらにこの技術を用いて左右の目に異なる映像を提示すれば、裸眼立体視も実現することができます。展示ではビデオカメラと人間に異なる映像を提示するデモを行っていますので、ぜひお越しください。



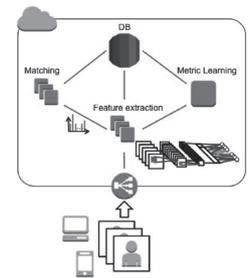
※画像センシング展内 デモンストレーションゾーンで、展示を行っています。(11日、12日)

### DS2-05 Deep Convolutional Neural Network を用いたスケーラブルなクラウド型顔認証システム

13:40～13:48

～クラウド技術と Deep Learning の技術を活用した、柔軟かつ高負荷に耐えうる顔認証システム～  
古森 崇史 (ABEJA Inc.)

Web やクラウド技術と Deep Learning の技術を組み合わせることで、高性能かつ大量のトラフィックを処理可能な顔認証のシステムを構築しました。必要なときに、必要なだけの計算能力を並列に確保することができ、WebAPI 経由で利用できるため、非常に簡単に Deep Learning の技術をアプリケーションに組み込むことが可能です。



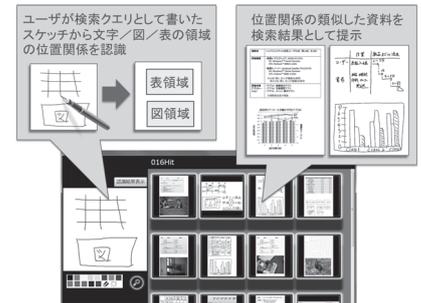
※アネックスホール 2F SSII 会場内、展示を行っています。(11日、12日)

### IS1-37 手書きスケッチによる直感的な資料検索システム

13:50～13:58

中洲俊信・山地雄士・柴田智行・井本和範 (東芝)

多くの書類の中から目的の資料を探すとき、資料の大まかな外観をたよりにすることはありませんか？本システムでは、同じ感覚でデジタルデータの資料を検索する方法を実現します。検索クエリとして手書きのスケッチを利用し、図や表といったオブジェクトの位置や大きさを直感的にシステムに与えます。多くのユーザに書いてもらったクエリのスケッチから、統計的に主要な表現パターンのみを認識対象とする仕様を策定し、手書きに特有な変動にロバストな認識を実現しました。

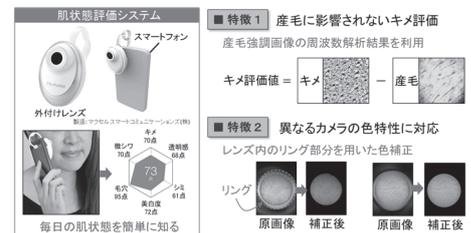


### IS2-04 スマートフォンを用いた肌状態評価システムの撮影装置改良に伴う評価手法の再検討

14:00～14:08

神戸美智子・田口 亮 (名古屋工業大学)・服部公央亮・保黒政大 (中部大学)・梅崎太造 (名古屋工業大学)・松岡建志 (マクセルスマートコミュニケーションズ)

本システムは、スマホにアタッチメント式カメラを装着するだけで手軽に肌判定ができます。従来、専門知識と高価な撮影装置を必要としましたが、スマホで撮影した肌画像をサーバー側に送るだけで、詳細な肌分析結果とそれに対する専門家のアドバイスが得られます。現在、iOS、Android 用アプリケーションとしてネットサービスを展開しています。本発表では評価精度の向上に寄与した「キメ評価手法」と「色補正手法」について解説します。



### IS2-03 ウォークスルー型指静脈認証技術の開発

14:10～14:18

～人が集中する入場ゲートでセキュリティの向上と混雑緩和の両立が可能に～  
松田友輔・三浦直人・長坂晃朗・宮武孝文(日立製作所)

駅や空港などでの本人確認時の混雑を解消する手段として、ウォークスルー型の指静脈認証技術を提案します。本技術では歩きながら指を提示できる装置形状を実現しながらも、指の位置と姿勢の変動に応じた LED 光源のリアルタイム制御により鮮明な指静脈画像の撮影が可能になります。また、複数の指の静脈パターンを照合に利用することで認証精度を向上します。本技術は、高いセキュリティが必要な場面でのスムーズで正確な本人確認、なりすまし防止を実現します。



※画像センシングシンポジウム (SSII / アネックスホール) へのご入場は有料となります。